

インフルエンザの対応と 今後の危機管理のありかたについて

小野 芳久 議員(自民)

町長 事前に対応する
体制を整えている



質問 インフルエンザに伴う学級・学年閉鎖メールが瑞穂町危機管理対策会議などから発信されている。この会議が今回の健康危機の統括と考えるが、どのように指示を出し、各担当部署ではどのような対応し、問題解決に当たったのか。今後町は、横田基地を抱えていることなどにより、災害だけでなく様々な問題が起こり得る。そこで、さらなる危機管理体制の強化と町民意識を啓発する必要があると考えるが、町長の所見を伺う。

町長 新型インフルエンザについては、5月



メール配信サービスで町民にお知らせ

から対応を開始し、公共施設への消毒薬の配布や保健事業従事者用のマスクなどをいち早く備蓄し、学級閉鎖の状況についてホームページやメール配信サービスで町民にお知らせしている。

また、総合的にリスク管理を担当する組織として危機管理対策会議を設置し、自然災害をはじめ、町民や地域に

被害や混乱が及ぶことが想定される事態に対し、事前に対応する体制を整えている。

「指定管理者制度」で職員の削減は

尾作 武夫 議員(自民)

町長 制度導入により削減している



質問 平成15年「公共施設の管理運営に民間の能力を活用し、サービス向上と経費の削減を図る」という目的のもと、民間事業者やNPO団体などにも管理運営を委ねることができるとして、行政にとつて何より大きな効果が期待できる。既に保育園、耕心館、寿楽など多岐にわたり導入している。

そこで、職員の定員管理においては公共施設を指定管理者に任せられるだけで大幅な職員削減が可能と考えるが、町長の所見を伺う。

町長 町では、17年4月より指定管理者制度を導入し、現在10カ所の施設で運営管理している。職員の削減につ



制度を導入している心身障害者(児)福祉センターあゆみ

いては、導入前の16年4月の職員数227人に対し、21年4月では214人と削減されている。また、コミセンや子育て支援センターの運営、障がい者自立支援制度、教育指導体制整備など、新たな行政サービスの拡大に対応し、職員増無しに対応できたことも成果と考える。今後も組織の見直しと少数精鋭による組織運営を目指していく。

福祉のまちづくりについて

小池 信一郎 議員(自民)

町長 互いに自立し、支え合うまちづくりを目指す



質問 本格的な人口減少社会の中、高齢化が進んでいる。身体障害者手帳の交付を受けている方や外国人登録者もここ数年増加傾向にある。今後は、町の観光振興により観光客の増加も見込まれ、さらなるバリアフリー化やユニバーサルデザイン化による福祉のまちづくりの推進が求められる。そこで次の3点について伺う。

問① 町施設、道路などの状況は。

町長 改装中のふれあいセンターはユニバーサルデザインを取り入れて安心・安全を目指している。学校ではトイレ改修が完了。地区会館には「だれでもトイレ」を設置し、道路は都の新設計基準に基づいた改修を、



「だれでもトイレ」に改修された箱根ヶ崎北会館

公園は駐車場入口の段差解消など、順次取り組んでいる。

問② 未整備な部分の今後整備予定は。

町長 施設改修などに合わせて計画し、進める。

問③ 福祉のまちづくり条例制定について。

町長 都の条例に準拠した整備をできる範囲で実践する事が大切であり、町の条例制定より優先すべきと考える。

議会傍聴にお越しく下さい

3月
定例会
(予定)

- 2月23日(火) 議会運営委員会
- 3月 5日(金) 本会議(一般質問)
- 8日(月) 本会議(一般質問・議案審議)
- 9日(火) 本会議(一般質問・議案審議)
- 11日(木) 総務委員会
- 12日(金) 産業建設委員会
- 15日(月) 厚生文教委員会
- 16日(火) 予算特別委員会
- 17日(水) 予算特別委員会
- 18日(木) 予算特別委員会
- 23日(火) 議会運営委員会
- 25日(木) 本会議(議案審議)

3月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は、2月18日(木)になります。

■お問い合わせ 議会事務局 TEL 557-7693(直通)